

# ウシ呼吸器病遺伝子検出キット(DGLK-0002A)／DNA検査装置 (DD100GL00) 使用方法

## ※コンタミネーション防止について

白衣を着用し、使い捨て手袋を使用してください。異なるサンプルを扱う際は手袋を交換してください。検査に使用した器具は、使用後にハイター希釈液で拭くか、UV照射を行ってください(30分以上)。作業前後に、作業机上やブースなどをハイター希釈液で拭いてください。

## ①事前の準備

### カードの解凍

常温で解凍してください。(10～15分程度)



**開封厳禁**

### 圧開放

カードを開封し、圧開放機に10秒程度セットしてください。



※レバーを最後まで下ろしてください

### 増幅試薬、アイスラックの用意

作業開始直前に冷凍庫から取り出し、増幅試薬は常温で解凍してください。



## ②熱変性

### 核酸の熱変性

核酸抽出液が入ったチューブを解凍し、ヒートブロックで80℃2分加熱してください。



### 急冷

加熱後のチューブをアイスラックで約1分間急冷してください。



### 攪拌・遠心分離

・タッピング : 5回  
・遠心 : 5秒  
してください。

※適宜バランサーを使用してください。

## ③DNAチップカードへの注入

### 攪拌・遠心分離

解凍された増幅試薬を  
・転倒混和 : 5回  
・遠心 : 5秒  
してください。

※ボルテックスは避けてください。  
※適宜バランサーを使用してください。

### 増幅試薬への添加

マイクロピペットを用いて核酸抽出液が入ったチューブから8  $\mu$ L分取り、増幅試薬チューブに添加してください。



### 攪拌・遠心分離

・転倒混和 : 5回  
・遠心 : 5秒  
してください。

※適宜バランサーを使用してください。

### 増幅試薬の注入

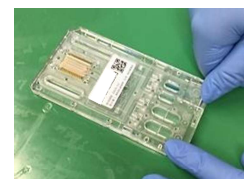
マイクロピペット(P200)を用いて、DNAチップカードの注入口からDNA抽出液・増幅試薬の混合液を5秒かけて90  $\mu$ L注入してください。



### キャップを閉める

キャップを「カチッ」と音がするまで閉めてください。

※気泡が入っていないことを確認してください。

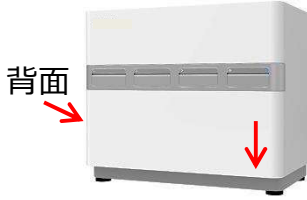


※増幅試薬を注入したカードは速やかに検査にご使用ください。

## ④ 装置の準備

### 電源の投入

DNA検査装置及びノートPCの電源を入れてください。



### GUIの起動

PC画面上の検査用GUIアプリをダブルクリックして起動してください。



### ログイン

登録済みのIDでログインしてください。



## ⑤ 検査の手順

### ユニットの選択

検査に用いるユニットを1~4から選択し、選択ボタンを押してください。



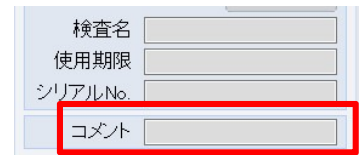
### 検査情報の入力

サンプルID(255文字まで)を入力し、2次元コードリーダーでカードの2次元コードを読み取ってください。



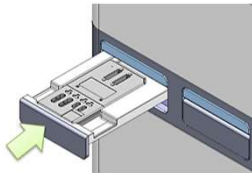
### (コメントの入力)

必要に応じてコメント(255文字まで)を入力してください。



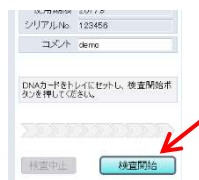
### カードのセット

検査するカードをトレイにセットし、トレイを押し込んでください。



### 検査の開始

検査開始ボタンを押してください。約95分で検査は完了します。



### 検査結果の確認

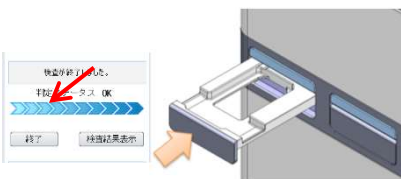
検査終了後、検査結果表示ボタンを押して、結果を確認してください。



## ⑥ 検査の終了

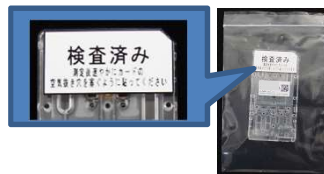
### 検査の終了

検査が終了しましたら、終了ボタンを押してカードを取り出し、トレイを閉めてください。



### カードの廃棄

取り出したカードに、速やかに検査済みシールを貼り、廃棄用袋に入れて廃棄してください。



### 装置使用の終了

ログアウトボタンを押し、GUIを終了した後、装置の電源を切ってください。

